

[4] 串間市小体連（学校数11校 児童数869人）

I 年間事業

期 日	事業名	主な内容	会 場
4月21日(火)	第1回理事会	前年度事業、会計報告・役員選出・事業計画・予算案の審議	本城小学校
5月20日(水)	第1回南那珂地区小中学校教科等研究会		南郷ハートフルセンター
5月26日(火)	第2回理事会	研究推進・水泳教室検討・新体力テスト・県小体連理事会等の報告	本城小学校
6月26日(金)	第3回理事会	研究推進・水泳記録会検討	本城小学校
7月23日(木)	第4回理事会	水泳記録会前日準備	福島小学校・市総合運動公園内プール
7月24日(金)	第36回串間市小学校水泳記録会		市総合運動公園内プール
8月25日(火)	第5回理事会	研究推進・陸上教室検討	本城小学校
9月18日(金)	第6回理事会	研究推進・陸上教室検討	本城小学校
10月19日(月)	第7回理事会	陸上教室前日準備	福島小学校・市総合運動公園陸上競技場
10月20日(火)	第50回串間市小学校陸上教室		市総合運動公園陸上競技場
10月22日(木)	第56回宮崎県学校体育研究発表大会（日南・串間大会）		日南市総合運動公園
10月23日(金)			吾田小学校
12月11日(金)	第8回理事会	事業反省・研究のまとめ	本城小学校
1月29日(金)	第9回理事会	研究のまとめ・次年度に向けて	本城小学校
2月24日(水)	第3回南那珂地区小中学校教科等研究会		南郷ハートフルセンター

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

(1) 大会名 第36回 串間市小学校水泳記録会

(2) 実施日 平成27年7月24日(金)

(3) 会 場 串間市運動公園内プール

(4) 出場者 串間市内各小学校5、6年生代表児童

(5) 実施種目

○ 自由形25m、50m(5、6年別)

○ 平泳ぎ25m、50m(5、6年別)

※ただし、50m平泳ぎのみ5・6年混合で競技する。(男女は別)

○ 100mリレー男子、同女子

(6) 競技方法

○ タイムレースとし、出場は、100mリレーを除き、1人2種目とする。

○ 競技は、原則として学年別、男女別とする。

○ その他細部については、串間市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

(7) 日程 開会式 9:10 競技開始 9:20

競技終了 11:20 閉会式 11:30

(8) 表彰

○ 上位6名までを入賞とし表彰し、参加児童全てに記録賞を渡す。

(9) 反省

日程については、昨年度の大きな反省でもあった終業式後の休日明け開催に比べて、期間に余裕があったおかげで、児童の練習に余裕が生まれ、前日準備や当日準備の負担も軽減され大変良かった。来年度もゆとりのある日程で開催したい。水分補給や休憩を適宜入れたため進行が30分程遅れたが、児童の体調面を最優先した結果であり、健康面に留意した大会運営を今後も行いたい。大会の目的達成にせまる素晴らしい大会であった。

## 2 陸上大会

- (1) 大会名 第50回 串間市小学校陸上教室
- (2) 実施日 平成27年10月20日(火)
- (3) 会場 串間市総合運動公園内 陸上競技場
- (4) 出場者 串間市内各小学校6年生児童 ※複式校などは5年生も参加(193名)
- (5) 実施種目
  - トラック競技
    - ・100m ・800m(女子) ・1000m(男子) ・50mハードル ・400mリレー
  - フィールド競技
    - ・走り高跳び ・走り幅跳び ・ソフトボール投げ
- (6) 競技方法
  - タイムレースとする
  - 出場は、100mとリレーを除き、1人2種目とする。100mは全員参加とする。フィールド競技は、1人1種目しか参加できない。
  - 競技は、原則として学年別、男女別とする。
  - その他細部については、串間市小学校体育連盟による競技規則を適用する。
- (7) 日程 

開会式	9:00	競技開始	9:40
競技終了	15:00	閉会式	15:10
- (8) 表彰
  - 上位6名までを入賞とし表彰し、参加児童全てに記録賞を渡す。
- (9) 反省

天候にも恵まれ、陸上運動を通して精一杯競い合う児童の態度や、運営を支える役員、串間市陸上競技協会の協力など、学習成果の発表の場にふさわしい大会であった。保護者の応援のマナー(応援する場所が守れない)が例年の課題であり、保護者への啓発の在り方を検討する必要がある。年々減り続ける児童について、学校・学年を超えたりレーのメンバー編成のためのルール改定や手続きの在り方も検討が必要である。

## 研究部のあゆみ

### I 研究主題

運動の楽しさや喜びにふれ、生涯にわたって運動に親しむ能力を育てる体育学習を目指して  
～「表現リズム遊び」「表現運動」指導の工夫改善を通して～

### II 主題設定の理由

近年、我が国は急激な社会の変化により、生活環境は一段と便利で快適になった。反面、身体活動の機会が減り、慢性的な運動不足になりがちで、健康面では生活習慣病の低年齢化をはじめと様々なことが問題となっている。平成24年度の全国体力テストの結果では、小学校男女ともに反復横とび以外の種目では、50%以上の児童が、昭和60年度の平均値を下回っている。また、運動の二極化も極端に進んでいる。学習指導要領では、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを重視し改善を図ること」「学習したことを実生活、実社会において生かすこと」「学校段階の接続及び発達の段階に応じて指導内容を整理し、体系化を図ること」の視点を重視した改訂が行われており、今後、体育科学学習の一層の充実が求められている。

昨年度から、本市小体連では、「表現リズム遊び・表現運動」の運動領域を中心に、児童が仲間とのコミュニケーションを通じて、表現の楽しさや喜びを感じるような指導方法の研究を進めてきた。教師への実態調査や学習内容の再確認、指導方法の検討等を通じて、教師がどのような

内容をどのように指導するのかを明確にすることで、表現運動についての理解を深めることができた。しかし、各学校で実践するまでには至っていない。そこで、今年度も昨年度に引き続き「表現リズム遊び・表現運動」を研究してきた。表現の授業で効果的に活用できるような資料や教具を整備・作成し、各校へ配付したり、各校で授業研修会を実施したりすることで、市全体へ研究内容を広め、児童が進んで仲間とかかわったり、動きを工夫したりしながらリズム遊びや表現運動の楽しさを味わい、その魅力や特性に触れることができるのではないかと考え、本主題を設定した。

### III 研究の目標

教師の指導力の向上を図り、児童が豊かなコミュニケーション能力を身に付け、表現運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりを究明する。

### IV 研究の仮説

「表現リズム遊び」「表現運動」において、指導に有効な資料や教具等を整備し、指導内容や方法について共有することができれば、教師の指導力の向上につながり、児童も表現運動の楽しさや喜びを味わうことができるであろう。

### V 研究計画

研究年度	26年度 (土台をかためる)	27年度 (全体へ広める) 本年度	28年度 (研究の成果をまとめる)
研究内容	(1) 実態 (2) 指導内容の確認 (3) 実践授業による指導過程の検討 (4) 資料・教具等の整備・作成	(1) 資料・教具等の整備・作成、配付 (2) 授業研修会の実施	(1) 研究のまとめ (2) 実態調査

### VI 研究の実際

#### 1 資料・教具等の整備・作成、配付

昨年度行った実態調査で、多くの先生方が、表現の授業を指導する際に活用できる CD や資料を必要と感じていることが分かった。そのことから、指導に必要な資料や教具を整備し、指導内容や指導方法について共有することで、表現の指導を充実させることができるのではないかと考えた。

##### (1) CD・イメージカードの作成

表現の授業で活用できそうな音源を集め、学年ごとに2～3曲ずつ選曲し、1枚のCDにまとめ、各学校へ配付した。

また、インターネット等を活用して写真やイラストを集め、授業ですぐに使えるようラミネート加工してイメージカードを作成した。

##### (2) 資料の整備

文部科学省より、各学校へ配付されている右のような指導用資料の整備を行い、表現・ダンスの指導法について共有できるようにするとともに、授業で活用できるようにした。

	ウォーミングアップ	①・②
低学年	リズムダンス	③・④
	乗り物	⑤・⑥・⑦
	動物	⑧・⑨
中学年	サンバ	⑩・⑪
	ジャングル	⑫・⑬
	宇宙	⑭・⑮
高学年	海底	⑯・⑰
	フォークダンス	⑱・⑲・⑳
	対決!	㉑・㉒
	大変だ!	㉓・㉔
	クールダウン	㉕・㉖



## 2 授業研修会の実施

### (1) 模擬授業の実施

6月に行われた理事会で、昨年度作成した「基本的な単元計画」に沿って、表現運動の単元や1単位時間の流れについて確認するために、模擬授業を行った。教師が児童役となって表現の授業を体験することで、指導上配慮すべきことなどについて話し合い、作成したCDやイメージカードについても活用が図れるよう共通理解を行った。

### (2) 第56回宮崎県学校体育研究発表大会日南・串間地区大会への参加・運営

県学体研の運営に携わり、本市の全ての小学校から1名以上が公開授業を参観したり、授業研究会に参加したりした。「表現運動」の授業がどのようなものであるか、授業をどのように進めたらよいか、児童の反応など、様々なことを知ることができた。

### (3) 各校で表現運動に関する研修会等を実施

各校の体育主任がそれぞれの学校において、授業研究会、職員研修、研修報告等様々な形で、「表現リズム遊び・表現運動」の教具及び展開例について伝達した。その際、市で作成したCDやイメージカードの紹介をして、誰でもすぐに活用できるようにした。

【基本的な単元計画】

「表現」の授業における基本的な単元計画と一単位時間の流れを整理した。

オリエンテーションでは、文部科学省から各学校に配付されている「映像資料」等を活用し、表現とはどのようなものであるか、学習をどのように進めていくかを児童に理解させる。

単元	1	2	3	4	5	6
オリエンテーション 学習のねらいをつかむ。		【ねらい①】 いろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に語る。 即興的に表現 テーマ①	【ねらい②】 好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして語る。 即興的に表現 テーマ②	【ねらい③】 好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きを表現する。 グループで動きを伝える	【ねらい④】 表現したいイメージについてグループで相談する。	発表会
準備運動・ウォーミングアップの運動を行う。	1 準備の確認をする。 2 準備運動・ウォーミングアップの運動をする。 3 題材からイメージすることを見せ合う。 4 映像資料を見て、学習の進め方を知る。 5 出し合ったイメージの中からいくつか選んで即興的に語る。 6 感想を出し合い学習の見直しをもつ。	1 準備運動・ウォーミングアップの運動を行う。 2 学習のめあて・進め方を確認する。	3 テーマからのイメージを、いくつか全員でやる。 4 グループでいくつかイメージを選び即興的に語る。 5 グループで、好きなイメージを1つ選び、ひと流れの動きにして語る。 6 グループで考えたひと流れの動きを見せ合う。	3 表現したいイメージについてグループで相談する。 4 表現したいイメージが強調されるよう、イメージカードを組み合わせてひとまとまりの動きを考える。		
		6 学習のまとめをする。		5 見せ合って感想を出し合う。		

ねらい①では、「絵カード」等を使い、テーマに沿ったイメージを即興的に表現させる。その際、児童により多くのイメージを経験させておくことが重要である。

ねらい④では、ねらい①での経験を基にして、表現したいイメージでグループに分かれ、ストーリー性のある「ひとまとまりの動き」を表現させる。

## VII 成果と課題

### 【成果】

- CDやイメージカードを作成したことで、児童の反応がよくなり、授業を進めやすくなった。
- 職員研修等で紹介したことで、基本的な指示や指導法などを理解してもらうことができた。

### 【課題】

- 指導法の紹介はできたが、実践するまでには至っていない。年間を見通して単元の中にどう取り入れていくかを考えていく必要がある。
- 串間市は小規模の学校が多いため、表現したものを見せ合うことができないことが考えられるため、今後は表現したものを発表する場を工夫していく必要がある。

## IV まとめ

串間市は複式学級を有する学校や少人数学級など学校ごとの実態の違いがあり、体育科の指導だけではなく、水泳記録会、陸上教室などの行事運営や研究を進める上での課題も多い。しかし、そのような実態の違いがあるからこそ、課題を共有し、様々な立場から意見交換ができる利点もある。今後もこのようなよさや課題と向き合いながら、串間市全体での体育科学習の充実が図られるよう、努めていきたい。

また、今年度は、県学体研の運営に携わる機会を得て、串間市小体連のみならず、南那珂全体で研究を進めることができ、大変有意義だった。